

## 体験型ワークショップ3

## 『人形劇を楽しむ』

## ◇日時と演者

日 時：2010年9月12日(日) 13:15～14:45

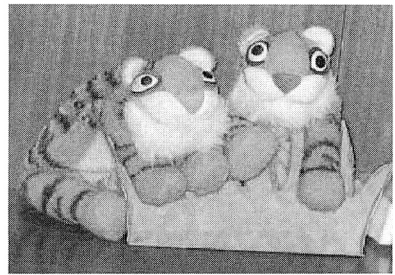
司会・進行：浦野武治（人形劇団もぐら）

人形劇公演：人形劇団もぐら

## ◇企画の趣旨

「人形劇団もぐら」は、1966年以来、愛知県名古屋市を拠点として「子どもたちが元気になる人形劇」をつくろうと活動を続けてきた。そのために、その時々子どもたちが抱える課題を学習し、子どもたちの心に寄り添い、子どもたちを支える人形劇をつくってきた。

人形劇では、物に命を与えることによって、彩り豊かに「うそこの世界」が作り出されていく。子どもたちは、自らの想像力を発揮して、主体的に人形劇の世界を楽しむ力をもっている。このような空間と時間が子どもたちの豊かな発達を促していけるよう導いていきたい。



## ◇ワークショップの概要

人形劇の部では、「タオル劇場」と「だるまちゃんとかみなりちゃん」の2本が上演された。いずれも人形劇団もぐらのオリジナル作品。

「タオル劇場」は、子どもたちがもつ豊かな見立ての力に依拠し、見立てのおもしろさを感じてほしいという思いで作られた。

「だるまちゃんとかみなりちゃん」は、かこさとし氏の絵本をもとに本劇団が作った作品。好奇心に満ちあふれた、だるまちゃんとかみなりちゃん。この二人の気持ちや振る舞いに子どもたちが共感していく。この二人を温かく見守り、包み込んでいく「かみなりのお父さん」の姿も温かくて楽しい。

実体験の部では、人形劇の上演のあと、参加者たちは、ふつうのタオルと正方形のタオル（おしぼりのようなもの）で「タオル人形」を実際に作ってみた。そして、そのタオル人形を動かしたり、片手使い人形を手にして、その動かし方を体験し、人形劇の世界を楽しんだ。

